

北新小学校における多忙化改善への取組

2020/06

1. 目的

教員が子供一人一人と向き合う時間を確保することにより、児童理解を深め、教育の質を高める。

2.内容

① 会議等の効率化

- ・電子データによる会議の推進により,印刷時間・綴じ込み時間の短縮を図る。
- ・協議と連絡を区別するとともに,定時終了を目指す。

② 学校行事の負担軽減

- ・新型コロナウイルス感染症への対応により,行事の必要性の軽重を検討する。
- ・資料の共有化により,準備を効率化する。

③ 学校組織の見直し

- ・自己評価表に位置づけ各々の分掌等について改善目標を立て,記載する。
- ・校務分掌についての洗い出しを行い,確認する。

④ 業務の効率化

- ・校務支援システムの効率的な活用の浸透を図る。
- ・業務の内容について資料の保存場所と保存方法の確認がなされる。

⑤ 地域人材の活用

- ・外部講師の定期的な活用を計画する。
- ・外部人材を活用することで,児童一人一人へのきめ細やかな指導を目指す。

⑥ 定時退校の奨励

- ・分掌業務の過剰負担がないか業務内容を確認する。
- ・校務分掌業務の見直しを行う。